

みずほCustomer Desk Report 2017/03/14 号(As of 2017/03/13)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	114.84 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.76	1.0689	122.67	1.0099	1.2167	0.7539
SYD-NY High	114.92	1.0714	122.88	1.0117	1.2251	0.7592
SYD-NY Low	114.48	1.0653	122.15	1.0061	1.2152	0.7534
NY 5:00 PM	114.88	1.0654	122.39	1.0074	1.2216	0.7572
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.1/9.45		△25RR	0.248	Yen Call Over	
NY DOW	20,881.48	▲ 21.50	債券市場	日本2年債	-0.2510	1.0bp
NASDAQ	5,875.78	14.06		日本10年債	0.0900	0.1bp
S&P	2,373.47	0.87		米国2年債	1.3719	1.9bp
日経平均	19,633.75	29.14		米国5年債	2.1385	3.7bp
TOPIX	1,577.40	3.39		米国10年債	2.6258	5.1bp
シカゴ日経先物	19,610	90.00	為替市況	独10年債	0.4710	▲1.4bp
ロンドンFT	7,367.08	24.00		英10年債	1.2470	1.6bp
DAX	11,990.03	26.85		豪10年債	2.9360	▲4.1bp
ハンセン指数	23,829.67	261.00		USD/CNH	6.8963	0.0013
上海総合	3,237.02	24.26		ドルインデックス	101.31	0.06
USDJPY 3M Vol	10.18	▲0.21%	商品市況	CRB指数	183.156	0.51
USDJPY 6M Vol	10.09	▲0.21%		NY金	1,203.10	1.70
EURJPY 3M Vol	12.85	0.41%		WTI	48.40	▲0.09
EURJPY 6M Vol	11.84	0.26%		Dubai Spot	50.13	▲1.07

東京	週明けのドル円相場はアジア時間に114.61をつけた後は114円台後半まで上昇して推移。東京時間オープン前に発表された本邦2月国内企業物価指数は予想通りの結果であった一方で、本邦1月機械受注は前月比▲3.2%と予想(同▲0.1%)を下回った。但し市場の反応は限定的で、ドル円は114.76レベルで東京時間オープン。安寄りした日経平均株価が前日プラス圏に浮上する中、高値114.92をつける。しかし、米金利が小幅下落して推移する状況下、115円台に乗せて上値を追う展開とはならず、114円台後半での揉み合い推移が継続。午後に入っても週央以降にオランダ下院選、FOMC、BOJ、BOE、G20等とイベントを多数控える中、動意に欠いた。結局ドル円は114円台後半で推移した後、114.67レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ドル円は、114.67レベルでオープン。FOMCやオランダ議会選挙等を控え、様子見ムードの中、114.50を割り込み安値114.48をつける局面があったものの更なる下落にはいたらなかった。結局、ドル円は日足一目均衡表の雲(抵抗帯)がある114円台半ばでサポートされ、114.66レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0701レベルでオープン。ECB理事会メンバーのメッテ・ベルグ・中銀総裁が、米紙インタビューで「最新の経済予測の上方修正は、金融政策の出口を意味するものではない」と、テールリスク観測の火消しに動いたことが意識され、ユーロが1.0659まで下落。1.0668レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2190レベルでオープン。薄利の中、1.2240まで上昇するも、英議会上院がBrexit法案を再審議する中、上値追いは手控えられ、1.2196まで反落。その後、スコットランド自治政府首相が、スコットランド独立問う住民投票について2018年秋から2019年春の間に実施する手続きを来週開始する旨を発表。ポンドドルは1.2232まで上昇し、1.2225レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は114.66レベルでNYオープン。朝方は特段材料のない中、ドル円は114.83まで上昇。しかし、タリが前日比マイナス圏で推移する中、ドル円は114.55まで反落。その後は米長期金利の上昇や、マイクス幅を縮小するタリに下値をサポートされ、114.89まで上昇し、114.88レベルで海外に渡った。日中は「米民主党、政府機関閉鎖の可能性示唆、壁費用含む暫定予算案へ抵抗」との記事が出たが、市場の反応は限定的となった。なお本日、ロッキート・アトランタ連銀総裁(2月28日付で退任)の後任に、南カリフォルニア大学教授のラファエル・ホスティック氏が選出されたことが明らかになった。6月5日付で就任し、最初に出席するFOMCは6月会合となる。100年超の米連邦準備制度の歴史の中で、黒人の地区連銀総裁誕生は初めてとなる。一方ユーロドルは1.0668レベルでNYオープン。海外時間にロンドン連銀総裁から「ドイツに対する為替批判は事実無根」との発言があったが、市場への影響は限定的になった。その後のユーロドルは上値の重い推移となり1.0679から1.0653まで下落し、1.0654レベルで海外に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:森谷・坂本

[昨日の指標等]

Date	Time		Event		結果	予想
3月13日	08:50	日	国内企業物価指数(前月比/前年比)	2月	0.2%/1.0%	0.2%/1.0%
	08:50	日	機械受注(前月比/前年比)	1月	-3.2%/-8.2%	-0.1%/-3.7%
	13:30	日	第3次産業活動指数(前月比)	1月	0.0%	0.1%

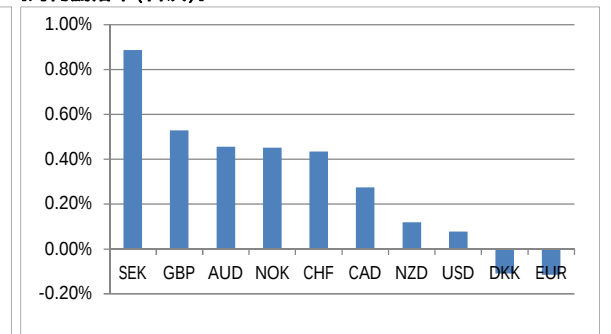
[本日の予定]

Date	Time		Event		予想	前回
3月14日	11:00	中	小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	2月	10.6%/8.3%/6.2%	10.4%/8.1%/6.0%
	16:00	独	CPI(確報・前月比/前年比)	2月	0.6%/2.2%	0.6%/2.2%
	16:00	独	EU基準CPI(確報・前月比/前年比)	2月	0.7%/2.2%	0.7%/2.2%
	19:00	欧	鉱工業生産(前月比/前年比)	1月	1.3%/0.9%	-1.6%/2.0%
	19:00	独	ZEW調査(現状/期待)	3月	78.0/13.0	76.4/10.4
	21:30	米	PPI最終需要(前月比/前年比)	2月	0.1%/1.9%	0.6%/1.6%

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.40-115.30	1.0600-1.0700	121.50-123.00

[マーケット・インプレッション]

昨日海外時間のドル/円相場は114円台半ばから後半にかけてのもみ合い推移となった。欧州時間序盤に特段の材料がない中でドル高が進みドル/円は114円台半ばから114.80近辺まで上昇するも、米株の下落等を背景に再び114円台半ばまで反落。しかし、その後は米金利の上昇等からドルが買い戻される展開となり114円台後半を回復した。本日も特段の材料がない中、昨日に引き続き重要イベントを前にして方向感に欠ける展開を予想する。3月利上げが確実視される中、マーケットの注目は今後の利上げペースに集まっており、明日公表されるFOMC議事要旨やドットチャートの内容を確認するまでは積極的な動きは控えられそうだ。